

東証スタンダード・名証メイン

証券コード：2185

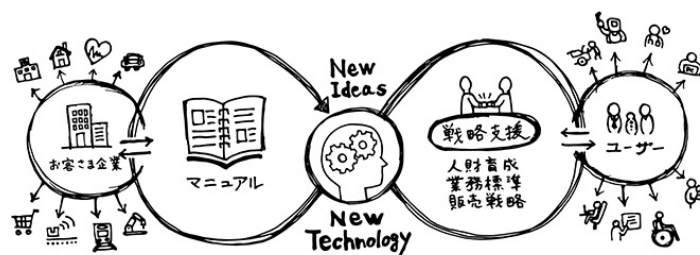
CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2024年9月期 第2四半期連結決算説明

CMC GROUPの特徴

製品・技術情報を知り尽くし、お客さま企業に寄り添う、
「DXを影で支える黒子企業」



創業60年、
常に変化をしながら、
持続的に成長



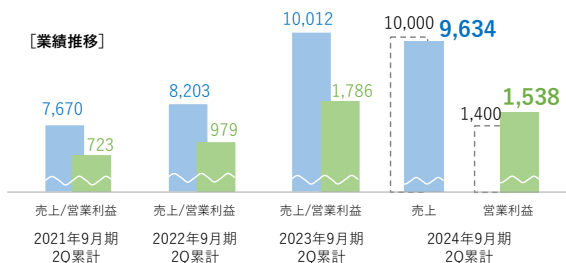
大手お客さま企業との
長年の信頼のお付き合い



磐石の財務基盤により、
成長戦略への投資や
資本政策を機動的に実施

業績報告

- 売上高は概ね計画通り、
営業利益は予想比+9.9%で推移



成長戦略への取組み

- 製品・技術情報と業務情報双方のデータを構造化する独自基盤を充実

製品・技術情報のデータ活用を効率化

DX推進による業務効率化・省人化をサポート



KNOWLEDGE
MASTER

構造化データを自動生成
生成AIなどへのデータ活用をサポート



KAIZEN FARM

有料プラン(有料機能)を実装
収益源の拡大をめざす

- 価値創造プロセスなどをまとめたサステナビリティレポートを発行

内製化した制作プロセスにおいて、持続的なビジネス実現に向けた意識を醸成



- 1.業績報告
- 2.業績見通し
- 3.成長戦略への取組み
- 4.参考資料

1.業績報告

業績サマリー

売上高は概ね計画通り、
営業利益は予想比 + 9.9%で推移

単位:百万円

	2022年9月期 上半期(実績)	2023年9月期 上半期(実績)	2024年9月期 上半期(予想)	2024年9月期 上半期(実績)	今期予想比
売上高	8,203	10,012	10,000	9,634	▲3.7%
売上総利益	3,050	3,878	-	3,531	-
営業利益	979	1,786	1,400	1,538	+9.9%
営業利益率	11.9%	17.8%	14%	16.0%	+2.0%
経常利益	1,115	1,745	1,450	1,461	+0.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	747	1,173	890	955	+7.4%
EPS	56.18円	88.54円	67.13円	72.06	+4.93円

※2024年9月期 2Qより、府中自動車株式会社を連結P/Lに追加

6

【売上高】

概ね計画通りに推移し、96億34百万円。

【営業利益】

継続的な生産性向上等により、
今期予想比プラス9.9%の15億38百万円。

【経常利益】

第1四半期に計上した一時的な損失があったものの、
概ね計画通りで推移。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

予想比プラス7.4%の9億55百万円。

貸借対照表

単位:百万円

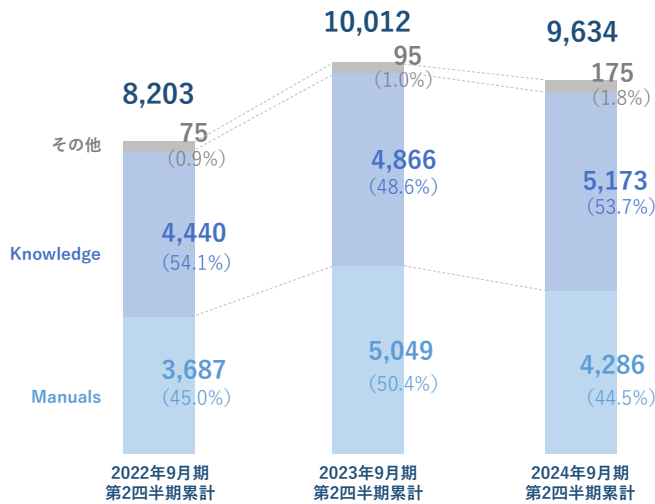
資産の部	2023年9月末	2024年3月末	差額
流動資産	18,098	18,339	+ 241
（内、現金及び有価証券）	13,538	13,661	+ 123
固定資産	6,648	7,074	+ 425
資産合計	24,746	25,413	+666
負債及び純資産の部	2023年9月末	2024年3月末	差額
流動負債	3,482	3,553	+ 71
固定負債	2,041	2,035	▲5
負債合計	5,523	5,589	+ 65
株主資本	18,408	18,872	+463
その他	813	951	+137
純資産合計	19,222	19,823	+601
負債純資産合計	24,746	25,413	+666

事業分類別売上高

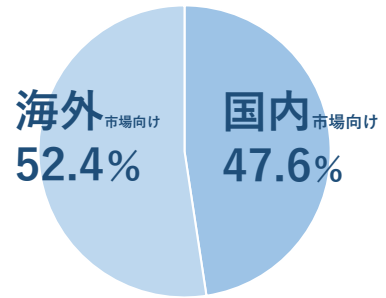
**Manualsは期ズレによる受注集中の前年同期比減収
Knowledgeはデジタル変革推進活動、府中自動車の連結子会社化により増収**

□累計同期比推移

単位：百万円



ご参考) 仕向け先別売上高



【Manuals】

期ズレによる受注集中の影響があった前期との比較において、15.1%減収。

【Knowledge】

デジタル変革推進、府中自動車の連結子会社化により、前期比6.3%増収。

ご参考)仕向け先別売上高

市場環境の変化により、特に中国での受注減少が影響し海外市場向けの売上高が前期比減少。

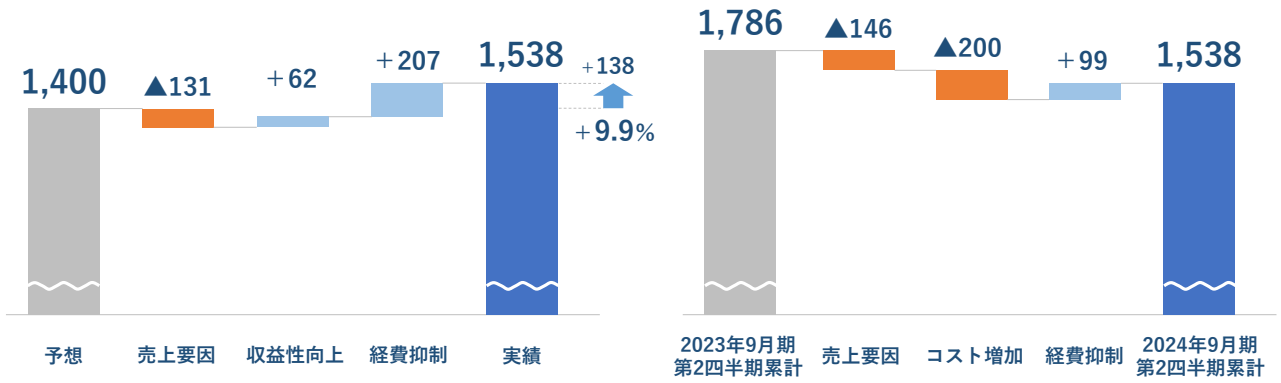
営業利益増減要因

収益性の向上とコスト削減の取り組みにより、
前年同期比減益も今期予想比では増益

単位：百万円

□予想対比（2024年9月期第2四半期累計）

□前年同期比



【営業利益増減要因】

前年同期比では、売上高の減少とコストの上昇により、減益。
予想比では、期初想定を上回る収益性の向上と、
人件費を除くコストの削減を進めた結果、増益を達成。

2.業績見通し

通期業績予想の修正なし

単位:百万円

	2023年9月期	2024年9月期 (予想)	前期比	2024年9月期 上半期進捗率
売上高	18,451	19,000	+3.0%	50.7%
営業利益	2,617	2,700	+3.2%	57.0%
営業利益率	14.2%	14.2%	+0.0 _{ポイント}	-
経常利益	2,873	2,900	+0.9%	50.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,762	1,800	+2.1%	53.1%
EPS	132.97円	135.76円	+2.79円	-
ROE	9.7%	9.2%	▲0.5 _{ポイント}	-

11

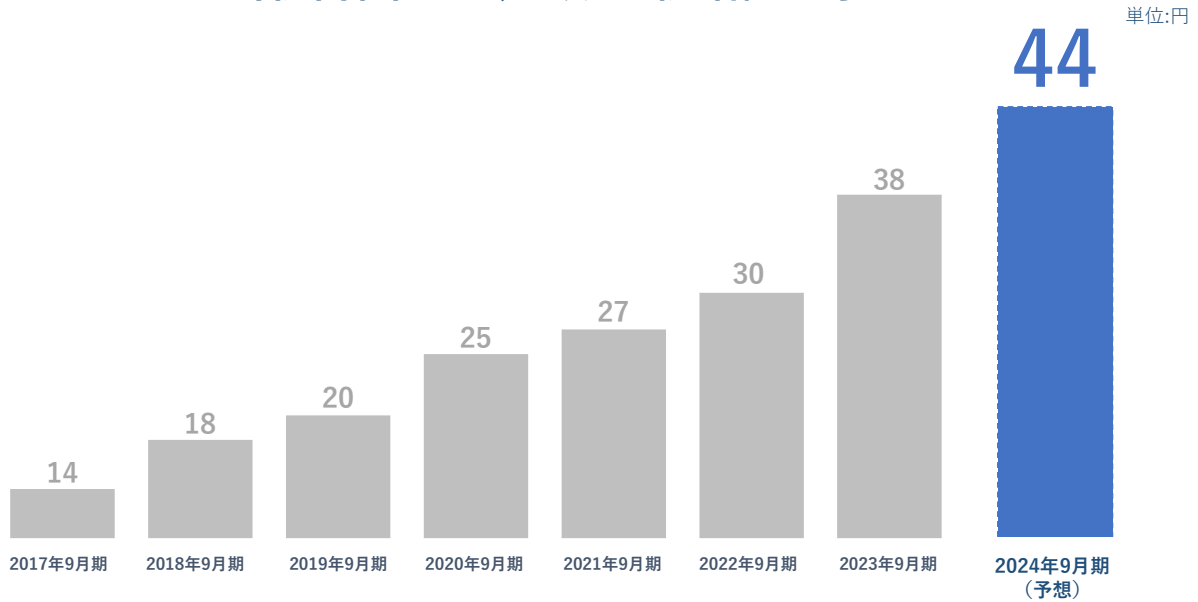
【通期業績予想の修正なし】

上半期の進捗率は、売上高、営業利益とも50%を超過。
今後のお客様企業の受注動向や、市場環境、為替影響など、不確定な要素を勘案し、
2024年9月期通期の業績予想については変更なし。

今期は、中計最終年度であり、次期中計での飛躍的な成長を目指して、
ビジネスモデル変革や、事業と商材の選択と集中の完遂に向け、注力。

配当予想

当初計画通り、7期連続増配を予想



【7期連続の増配予想】

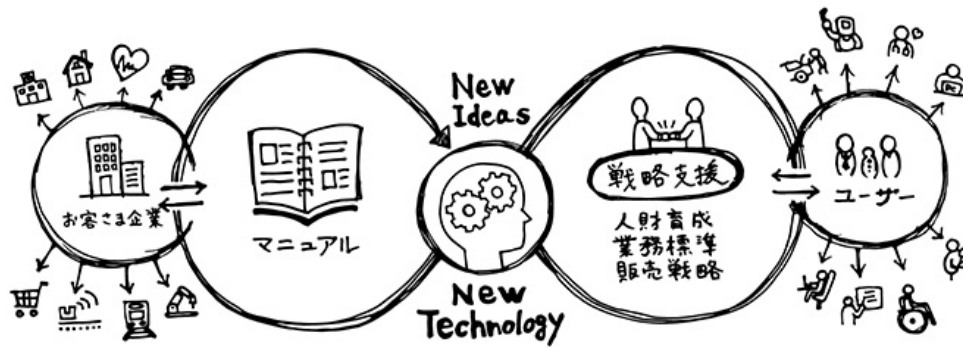
安定的に継続的な増配を目指す方針のもと、当初計画通り、1株当たり44円(6円増配)。

3.成長戦略への取組み

中期経営計画の実現に向けて

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する



このサイクルを回し続けることで、
お客さま企業を全面的にサポートし、行動変容に導く

14

【当社グループのビジネスモデル戦略】

- ・ 「マニュアル」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。
- ・ 「戦略支援」とは、
「マニュアル」で培ったノウハウを活用し、人財育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。

中期経営計画の実現に向けて

我々が創り出す情報のユーザーエクスペリエンス（顧客体験価値）を**最大化し**、**情報価値向上サイクルの実現**をめざす



15

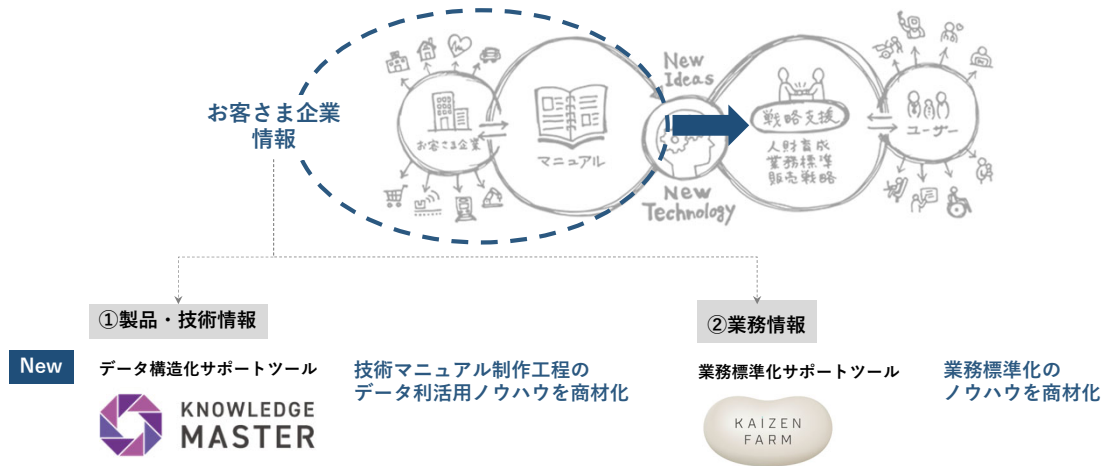
【持続的な情報価値向上サイクル】

・お客さま企業の技術情報や製品情報、カンコフなどの情報を体系化し、情報を必要とする人へ、「必要な時に」、「必要な情報を」、「最適な方法」で提供することで、ユーザーのうれしさを創出。

・ユーザーの情報活用動向を分析して、データベースへ反映することで、次の情報提供の質が向上。



業務情報に加え、製品・技術情報のデータを構造化する独自基盤を充実
データ利活用をサポートするビジネスモデルを強固に



(成長に向けた主な取組み -時代、社会、現場に寄り添う-)



長年の技術マニュアル制作の知見を集約 効率化、省人化に加え、生成AIなどへのデータ利活用をサポート

□技術マニュアル制作工程におけるデータ利活用ノウハウを商材化

構造化データを自動生成
生成AIなどへの活用を容易に



<実際の編集画面>



構造化データ

<提供先(BtoB)>



主力・注力市場へ
全方位展開

KNOWLEDGE MASTERに関する情報はこちら <<https://info.knowledgemaster.jp>>

(成長に向けた主な取組み①) -時代、社会、現場に寄り添う-



無料で提供していた機能に加え、有料機能の提供を開始 お客さま企業のDX推進に寄り添いながら、事業を拡大

□DX推進による業務効率化・省人化サポートツール



国内のDX推進の潮流を背景に、
業務手順などの見える化・定着を後押し



業務棚卸情報

RPAによる省人化
有効業務を自動分析
チャットボットの
QAづくりを容易化



追加
機能

追加機能を含む有料プランを実装
収益源の拡大をめざす

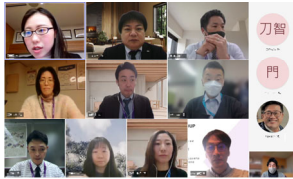


ボタン1つで
簡単マニュアル生成！

KAIZEN FARMに関する情報はこちら <<https://kaizenfarm.jp/>>

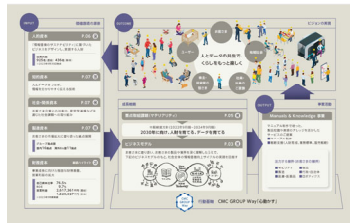
(成長に向けた主な取組み② -時代、社会、現場に寄り添う-)

価値創造プロセスなどをまとめたサステナビリティレポートを発行 持続的なビジネス実現に向けた意識を醸成



次世代リーダーでの
ディスカッションの様子

価値創造プロセス、
マテリアリティの
特定などを内製化



[心動かす価値創造プロセス]



[重点取組課題(マテリアリティ)]

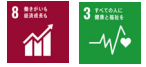
レポートはこちら

https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/themes/cmc/assets/sustainability/cmcg_sustainabilityreport2024.3.pdf

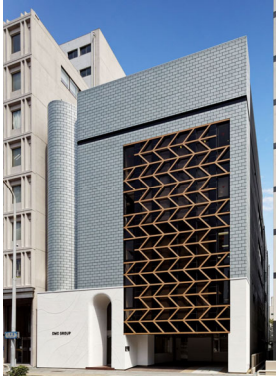
(成長に向けた主な取組み③ 『心動かす価値創造レポート』を発行)

成長に向けた主な取組み 多様な働き方に対応できる職場環境整備を進行

人財を育てる



サステナブルなビジネスを支える職場環境整備を進行中 当上半期は本社外壁改修工事が完了



本社ビル改修工事後の外観写真



(成長に向けた主な取組み④ 多様な働き方に対応できる職場環境整備を進行)

CMC GROUP

2024年9月期 第3四半期累計期間の決算発表は、
2024年8月9日（金）を予定しております。

4. 參考資料

沿革

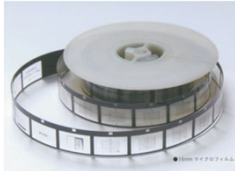
お客さま企業の
技術情報を扱う信頼の歴史

商品知識・理解、
ノウハウを活用

マニュアル制作（モノづくり） &
お客さま企業の戦略支援（コトづくり）へ

モノづくり(制作)

コトづくり(体験・体感)



書面や図面を微小サイズに縮小し、
フィルムで記録したもの



取扱説明書、修理書などの原稿(データ)制作



技術、特定業務の棚卸支援



商品研修会



展示会の支援 (VR活用)



1962



1970



2000



業務標準：
カンコツ・技能の棚卸し

印刷

2010



人財育成：
従業員への教育

マニュアル制作

2020



販売戦略：
消費者への
認知向上

23

- ・ 企業（商材）の寿命は約30年。
お客さま企業の技術情報を扱い続けながら、時代の変化に対応し、商材を変化。

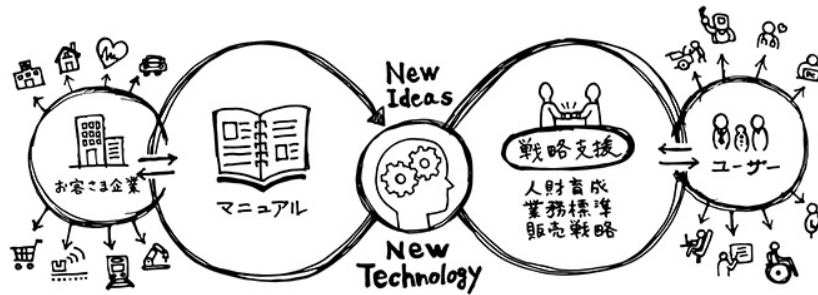
モノづくり：マイクロフィルムにはじまり、印刷、技術マニュアルなど
コトづくり：業務標準、人財育成、販売戦略など
業界拡大：モビリティ・製造業・サービス業

- ・ 情報を必要とする人へ
「必要な時に、最適な方法で、必要とする」情報を伝える、という
ビジネスの本質は変えず、時代に合った形にビジネスモデルを変革・成長させる。

ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する。



このサイクルを回し続けることで、
持続的な需要と高い参入障壁が生まれ、
独自のビジネスエコシステムを構築。

24

【当社グループのビジネスモデル戦略】

- ・ 「マニュアル」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。
- ・ 「戦略支援」とは、
「マニュアル」で培ったノウハウを活用し、人財育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。

Who we are



時代の変化に対応し、
変わり続ける

0個

創業時から続く
商材の数



一流企業に鍛え上げられた
品質と信頼性

約60年

大手自動車会社との
取引年数



仲間づくりと
グループ総力の結集

約6倍

グループ3社
M&A前後の
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ
マニュアル業界最大手

約50%

大手自動車会社における
技術マニュアルの
当社シェア



先端技術の
開発・活用

約25%

グループ全従業員
ICT人財比率



利益・配当
継続成長

6

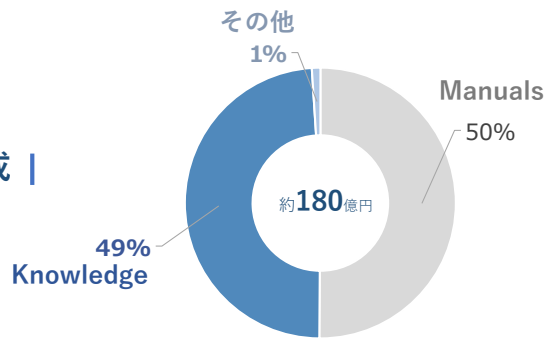
期連続
直近の実績で
6期連続増配

当社グループの特徴を6つの数値で表現。

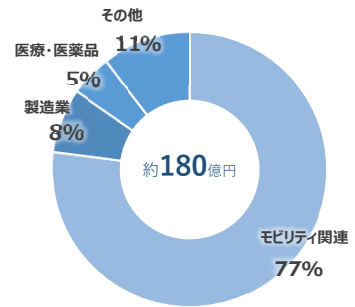
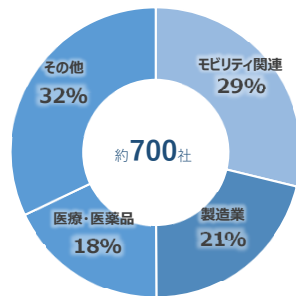
1. 創業時から続く商材数：0個
2. 大手自動車メーカーとの取引年数：約60年
3. M&A後のグループ会社の営業利益：約6倍
4. 大手自動車メーカーにおける技術マニュアルのシェア：約50%
5. グループ全従業員のICT人財比率：約25%
6. 6期連続の増配

経営概況 (2023年9月期末時点)

売上構成 |



顧客構成 |



顧客構成においては
注力・主力市場への選択と集中が進む

【顧客構成】

注力・主力市場への選択と集中が進む。

海外拠点 (2024年3月31日時点)

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi Europe E.U.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
広州市丸星資訊科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台湾丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC GROUP ASIA CO., LTD.

シンガポール



CMC GROUP ASIA CO., LTD.

海外

8ヶ国 11拠点

経営指標

連結損益計算書	単位	21年9月期通期	22年9月期通期	23年9月期通期	24年9月期 予想
売上高	百万円	17,331	17,917	18,451	19,000
売上総利益	百万円	6,541	6,860	6,858	7,100
営業利益	百万円	2,277	2,590	2,617	2,700
経常利益	百万円	2,421	2,964	2,873	2,900
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,618	2,003	1,762	1,800
売上総利益率	%	37.7	38.3	37.2	37.4
営業利益率	%	13.1	14.5	14.2	14.2
経常利益率	%	14.0	16.5	15.6	15.3
当期純利益率 ※1	%	9.3	11.2	9.6	9.5

※1 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	21年9月期通期	22年9月期通期	23年9月期通期
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,194.24	1,315.42	1,428.67
EPS(1株当たり当期純利益)	円	118.93	150.56	132.97
ROE	%	10.4	12.0	9.7
ROA	%	11.9	13.6	12.1
PER	倍	11.3	7.9	10.7
配当性向	%	22.7	19.9	28.6
従業員数	名	934	909	925

将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社シイエム・シイ 経営企画部 経営企画室 I R担当 052-322-3386

I Rサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>